

アントレプレナーシップに対する これまでの取り組みと将来について

株式会社アオキシントック

代表取締役CEO 青木圭太



1.自己紹介 & 会社概要

プロフィール



代表取締役

あおき けいた
青木 圭太

経歴

1980年生まれ 栃木県真岡市出身
県立真岡工業高等学校卒業後、帝京大学へ進学。
その後業務多忙により中退し、青木製作所業務に専念。
製作全般に携わり、営業拡大に努め売上増に貢献し、
2011年代表取締役就任。

- ・ 株式会社アオキシントック 代表取締役
- ・ 株式会社ニッケイ機工 代表取締役
- ・ THAI AOKI Co.,Ltd 取締役
- ・ A・F・V 専務取締役
- ・ 真誓会宇都宮 代表
- ・ 真岡商工会議所青年部 所属
- ・ 真岡ロータリークラブ 所属
- ・ 公益社団法人栃木県経済同友会 所属
- ・ 真岡市観光協会 副会長
- ・ とちぎアントレプレナーコンテスト実行委員長
- ・ スーパーファクトリーグループ【GarageTochigi】
- ・ トチギテックプラングランプリ特別協賛審査委員
- ・ 真岡東中学校学校運営協議会 会長
- ・ 真岡工業高校学校運営協議会 会長



とちぎアントレプレナー・コンテスト

【主催】

とちぎアントレプレナー・コンテスト実行委員会
(2012年設立)

【後援】

関東経済産業局・栃木県・栃木県教育委員会・宇都宮市・足利市・栃木市・佐野市・
鹿沼市・日光市・小山市・真岡市・真岡市教育委員会・大田原市・矢板市・那須塩原
市・さくら市・那須烏山市・下野市・上三川町・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町・
壬生町・野木町・塩谷町・高根沢町・那須町・那珂川町・足利銀行・下野新聞社・
とちぎテレビ



- 1 112 小堀 詩／宇都宮北高(最優秀)
 - 2 206 柴田 紗莉菜／鹿沼高「P-project」
 - 3 637 中道 理仁／宇都宮高「Cyber Academy」
 - 4 1,119 八木澤 玲玖／黒磯高「那須旅」
 - 5 732 小泉 泰英／宇都宮大「だいちの輪」
 - 6 1,052 舘野 知紘／宇都宮女子高「Blanc.C」
 - 7 781 藤間 麻康／真岡北陵高「輝夜」
 - 8 3,370 南山 いの／那須拓陽高「妖魔の館」
 - 9 2,889 岡田 直樹／作新学院大「Deer」
 - 10 116 椎名 虎也／黒磯高「うっしい」
 - 11 483 石井 悠大／金沢大「アイデア就活」
 - 12 370 福田 野々花／星の杜高「のののWORKS」
- 合計11,867件

きっかけ

中国の高等専門学校へ、実習生の面接に行った経験が原点。

異文化の若者の“働く意欲”に触れ、

「栃木の学生にも、特性を生かして“働く”を本気で考える場を」と決意。

その実装としてとちぎアントレを立ち上げ、

メンター伴走＋開業資金＋育成プランで

“考える→やってみる”まで繋げる仕組みを整備。

子ども達に伝えること

Q.何の為に「仕事」するの？



どれも正解！！

仕事1日=約 8 時間

1日= 24 時間



人生の 3 分の1は仕事



ちょっとだけゲームしよう

1時間しかやっていないと
思ってたらもう3時間も
やっちゃった・・・

仕事でも同じことが起きる！

Q.「仕事」と「作業」の違い

作業＝「言われたことをそのままやること」

例：教科書を写す、皿を洗う、草むしりをする

仕事＝「自分なりに考えて、価値を生み出すこと」

例：みんなが覚えやすいようにノートをまとめる

食堂で効率よく片付ける工夫をする

草むしりをして校庭が気持ちよく使えるように整える

一言で言うなら

作業は “時間を使うこと”

仕事は “価値を生み出すこと”

◆ 10年間「作業」だけ続けた人

所得：ほぼ横ばい。時給や月給が少し上がる程度。年収で言えば300～400万円前後で停滞。

待遇：役職や責任は与えられにくい。替えが効く人材と見なされ、転職しても同じような立場になりがち。

成長：作業スピードは速くなるが、判断力や提案力は伸びない。AIやロボットに代わられるリスクも高い。

◆ 10年間「仕事」として取り組んだ人

所得：昇進や成果による報酬増で500～800万円以上に到達。独立やリーダー職ならさらに伸びる。

待遇：役職や裁量が与えられ、チームを率いる立場になる。転職市場でも評価されやすく「選ばれる人材」になる。

成長：課題発見・改善提案・お客さんの信頼獲得など、経験が積み重なり「替えが効かない存在」になる。

コンテストの目的変化

受賞内容よりも「意識変化」をどう起こすか

アイデア→2回のセミナーを通じた成長プロセス

ユニコーンへの挑戦

アグクル → 現オリゼ (ORYZAE)

第5回最優秀・宇都宮大 小泉泰英さんの流れ(会社案「だいちの輪」→起業)。

創業～現在:2018年にアグクル創業 → 2022/12/3に「株式会社オリゼ」へ社名変更。

発酵×D2Cを軸に“五方よし”を掲げる。

大学発ベンチャーの色:「宇都宮大学発」を明言、ミッションは「地球を発酵させる」。

成長トピック:2023/1に総額2億円調達を公表(D2Cと米麴由来糖分「ORYZAE」事業の拡大)

要点(3つ)

1. 受賞より行動変容

経営者の指摘→検証→再設計を2回のセミナーで回す中で、
学生は「誰の不を、どう良くし、どう回すか」を自分の言葉で語れるようになる。

2. 起業＝安定をつくる力

安定は“固定”ではなく**適応**。

小さく試し、数字で確かめ、

仲間と連帯する力は進学・就職・研究にも通底する“働く力”。

3. すべての学生に機会を

個々の特性を起点に、現実の課題と出会い、

職業観を磨く機会を**中学～大学の全員**へ。

とちぎアントレはその伴走エコシステム。

将来に向けた役割別の呼びかけ

学校・先生

総合探究に顧客ヒアリング／現場観察／対話レビューを組み込み、プロセスKPIで評価してください。

保護者

失敗を“経験”として認め、学びに変える後押しをお願いします。
結果だけでなく挑戦のプロセスと一緒に讃えましょう。

企業・経営者

課題提供・職場見学・メンタリングで現実接続を。可能なら小口の支援も。

行政・金融

法務・会計のテンプレ提供とミニ補助で最初の一步を軽く。

学生

今日から次の一手を30文字で宣言し、今週1回はヒアリングを。

ALL

誰でも挑戦したくなるような土台を、私たちが作りましょう。

最後に

私が中国の高専で実習生の面接に立ち会ったのが、すべての始まりでした。

若者が“働く”を自分ごとに行っている姿に触れ、
栃木の学生にも特性を生かして本気で考える場をつくろうと決めました。

とちぎアントレは、アイデアを経営者の指摘で磨き、検証で確かめ、
数字で語れるようになる**学びの場**です。

受賞は通過点。価値は**変わる人**に宿ります。

学校・保護者・企業・行政が手を取り、**すべての学生**に機会を与えていきましょう。

御協力よろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました